

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

549・690・691・901

CASIO

時刻・時報・アラーム・リマインダー

549・690・691・901

使用説明書

このたびは、カシオデジタルウォッチをお買いあげくださりましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いただきますようお願い申し上げます。

なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取扱いで、万一、誤ったボタン操作を行っても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

ご使用上の注意

- 防水性** ●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていない場合
防汗構造となっておりますが、防水時計ではありませんので、直接、水に触れるようなご使用はお避けください。
- 裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されている場合
洗顔や雨など日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳・入浴・洗車などでのご使用はお避けください。
- 5気圧(50M相当)防水の場合 水仕事、スポーツなどでご使用になる水準です。スキューバダイビング、高とび込み、ウィンドサーフィンなどでのご使用はお避けください。
- 10気圧(100M相当)防水の場合 水仕事や水泳・水上スキー・スキューバダイビングなどにお使いいただけますが、専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。
- 20気圧(200M相当)および30気圧(300M相当)防水の場合 水仕事や水泳・水上スキー・スキューバダイビング(アクアラング)などで使用できます。
- 防水性能を保つために定期的(2~3年を目安に)なバッキン交換をおすすめします。
- この時計は、電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買いあげの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。(特殊な治具を必要とします。)
- バンド** ●バンドは指が1本入る程度の余裕をもたせてください。
- お手入れ** ●ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。
- 温度** ●直射日光が長くあつたり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。また+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。
- ショック** ●通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。
- 時計表面にG-SHOCKと表示されているもの
- 腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には支障ありません。
- 腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には支障ありません。(ただし、ガラス部分をぶつけることはお避けください。)
- 磁気** ●磁気の影響はありません。
- 薬品類** ●水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれら含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着するとケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。
- 保管** ●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。

電池交換について

- 最初の電池** ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
- ※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
- ※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。
- 消耗** ●電池が消耗しますと「表示が見にくくなったり」「時刻の狂いが目立ったり」します。このとき早めに交換してください。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
- 電池交換** ●電池交換は必ずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

※万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すごとに以下の順でモードが切替わります。

(押すごとに確認音が鳴ります)

※各モードで①・②・③ボタンを押した後、◎ボタンを押すと直接時刻・カレンダーモードに戻ります。

◀ 曜日の見方 ▶

時刻・カレンダーモード

アラームマーク

曜日 月 日

②ボタン

③ボタン

①ボタン

リマインダー

時 分 秒

午後マーク(午前は不点灯)

SU 日

MO 月

TU 火

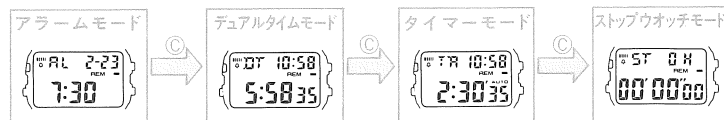
WE 水

TH 木

FR 金

SA 土

★リマインダーのON/OFF
時刻・カレンダーモードで①ボタンを1~2秒間押し続けるとリマインダーがビップ音がしてON(“=”の点滅)/OFFします。これは注意を促したいときや心に留めておくことがあるとき点滅させておくくと便利です。



秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正

月に1度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

(1)時刻・カレンダーモードのときに②ボタンを押して時刻セットモードにします。



(2)時報に合わせて、①ボタンを押すと「秒」が点滅しながら00からスタートします。



秒表示が00~29のときは切捨てられ、30~59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

(3)◎ボタンを押すと時刻・カレンダーモードに戻ります。



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後など時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

(1)時刻・カレンダーモードのときに②ボタンを押して時刻セットモードにします。

確認 ◻ “秒”が点滅していますか？

※セットモードのとき①ボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示(24Hが点灯)とが切替わります。



(2)◎ボタンを押します。

確認 ◻ 点滅する個所が移動しましたか？

※セットモードのとき、◎ボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。点滅個所がセット可能ですので、◎ボタンでセットしたい個所を選びます。



※時刻・カレンダーモードのとき「年」は表示されませんが、フルオートカレンダーのため「年」(西暦の下2桁)を合わせてください。(1985年~2029年までセットできます)

(3)①ボタンを押します。

確認 ◻ 点滅している表示が1つ進みましたか？

※①ボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進み、押し続けると早送りができます。

注) “秒”のときは表示が00になります。◻秒の合わせ方”参照

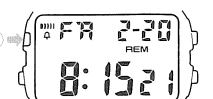


◎ボタンでセットしたい個所を選び、①ボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。

注)「時」のセットのとき午前(不点灯)/午後(PM)、24時間制(24H)にご注意ください。

(4)セットが終わったら(どの個所が点滅していても)、②ボタンを押すと時刻・カレンダーモードに戻ります。

●カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。



ストップウォッチの使い方.....操作のしくみにしたがってCボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

確認 ⇨ SF マークの点灯

ストップウォッチモード

ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99 (24時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

★計測のしかた.....Aボタンを押すごとに操作確認音が鳴ります。



●通常の計測

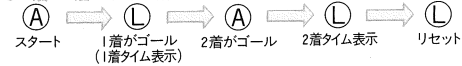


※積算計測.....ロスタイムのある場合には、ストップ後リセットせずに再スタート (Aボタンを押す)すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●スプリットタイム (途中経過時間) の計測



●1着・2着のタイム計測



●自動復帰機能

時刻セットモードやアラームモード、デュアルタイム、タイマーのセットで表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的にそのモードのノーマル状態に戻ります。

アラームの使い方..... 操作のしくみにしたがってⓐボタンを押し、アラームモードにします。

確認 ⇨ **AL**の点灯

アラームは分単位で月・日・時・分がセットでき、セット時刻になると20秒間電子ブザーで知らせます。月・日を指定するとその月日のセット時刻に、月・日を指定しないときは毎日セット時刻に鳴ります。また、毎正時(00分のとき)を"ピッピッ"と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。

アラームモード

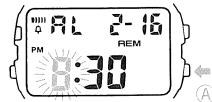
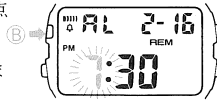


●セットのしかた

- (1)アラームモードのとき、ⓑボタンを押すと「時」が点滅します。
- (2)ⓒボタンを押すごとに点滅個所が下図の順で移動します。



- (3)Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進みますので、時・分・月・日をセットします。
※Ⓐボタンを押し続けると早送りができます。



注)「時」のセットのとき午前(不点灯)/午後(PM)にご注意ください。

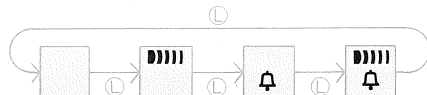
注) 時刻表示を24時間制表示にしているときはアラーム時刻のセットも24時間制表示となります。

- (4)セットが終わりましたらⓑボタンを押してセット完了です。

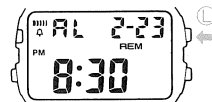


●アラーム、時報のON/OFF

アラームモードのとき、ⓓボタンを押すごとにアラームマーク■■■■、時報マーク🔔が以下の順で点灯、不点灯をくり返します。



アラーム	OFF	ON	OFF	ON
時報	OFF	OFF	ON	ON



●モニターアラーム

アラームモードでⒶボタンを押している間、電子ブザーが鳴ります。

●鳴っている電子ブザーを止めるには

鳴っている電子ブザーを止めるにはⓓⒶⓒのいずれかのボタンを押します。

●月日のセット

月日のセット内容により、次のようにアラームの鳴る日が変わります。

- 月・日セット → 指定月日の指定時刻に鳴る。
- 月のみセット → 指定月の1ヵ月間、指定時刻に鳴る。
- 日のみセット → 月1回、指定日の指定時刻に鳴る。
- 月日セット無し → 毎日指定時刻に鳴る。

デュアルタイムの使い方..... 操作のしくみにしたがってⓐボタンを押し、デュアルタイムモードにします。

確認 ⇨ **DT**マークの点灯

デュアルタイムとは基本時刻のほかに海外時刻などもう一つの時刻をセットできる機能です。

デュアルタイムモード



●12/24時間制表示の切替え

時刻・カレンダーモードとは別に切替えができます。デュアルタイムセットモードのときⓓボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示(24Hが点灯)とが切替わります。

時刻モードと連動
12/24時間制表示切替え(セット中)

●セットのしかた

- (1)デュアルタイムモードのとき、ⓑボタンを押すとデュアルタイムセットモードとなり、「時」が点滅します。
- (2)ⓒボタンを押すごとに点滅個所が右図の順で移動します。
※秒は時刻・カレンダーモードの時刻に連動しています。

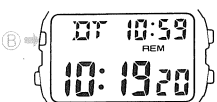
<デュアルタイムセットモード>



- (3)Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進みますので、ⓒボタンでセット個所を点滅させ、Ⓐボタンでセットをおこないます。
※Ⓐボタンを押し続けると早送りができます。



- (4)セットが終わったら、ⓑボタンを押してデュアルタイムモードに戻します。



タイマーの使い方.....操作のしやすさにしたがって◎ボタンを押し、タイマーモードにします。

確認 □ ⇨ ㊦マークの点灯

タイマーは秒単位で最大24時間までセットでき、セット時間が経過すると10秒間電子ブザーが鳴ります。

タイマーモード



(1) タイマーモードのときに◎ボタンを押すと「時」が点滅します。



(2) ◎ボタンを押すごとに点滅個所が右図の順で移動します。



(3) ◎ボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進みますので、◎ボタンでセット個所を点滅させ、◎ボタンでセットします。



※◎ボタンを押し続けると早送りができます。
※持ち時間を24時間にセットするときは表示を“0:00'00”にします。

(4) セットが終わったら、◎ボタンを押してセット完了です。



◎ボタンを押すと減算計測を開始し、残り時間を秒単位で表示します。

※操作確認音が鳴ります。

●ロスタイムがある場合

減算計測中、◎ボタンはスタート/ストップボタンとなり、減算計測をストップさせることができます。

●リピート(繰り返し)計測

タイムアップ後(残り時間0)、計測前にセットした時間を表示しますので、同じ時間を何回も計測すると便利です。

計測の途中で最初からやり直すときは、計測ストップ後◎ボタンを押します。

★オートリピート機能(自動繰り返し計測)

持ち時間のセットのとき(表示が点滅中)、◎ボタンを押すごとにオートリピートマーク“AUTO”が点灯・不点灯を繰り返します。オートリピート中はタイムアップ後も続けて計測前にセットした時間を繰り返し計測します。

※オートリピート中に10秒以下をセットした場合は、1秒間だけ電子ブザーが鳴ります。

●鳴っている電子ブザーを止めるには

鳴っている電子ブザーを止めるには◎◎◎いずれかのボタンを押します。

製品仕様

水晶発振周波数: 32,768Hz

常温携帯精度: 平均月差±15秒以内

表示方式: FE型液晶デジタル表示

基本機能: 時刻表示=時・分・秒・午前/午後

カレンダー表示=月・日・曜日 フルオートカレンダー(1985年~2029年)

アラーム機能: 時刻アラーム セット単位=分 電子ブザー=20秒間

時報 毎正時に2回電子ブザーで報時

デュアルタイム機能: 表示内容=時・分・秒

タイマー機能: 計測単位=秒 セット単位=秒 電子ブザー=10秒間

計測範囲=24時間 計測機能=通常計測・積算計測・オートリピート計測

ストップウォッチ機能: 計測単位=1/100秒 計測範囲=23時間59分59秒99(24時間計)

計測機能=通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測

セット機能: 時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能(±30秒アジャスト)、アラームセット機能、デュアルタイムセット機能、タイマーセット機能、リマインダーセット機能、タイマー自動リピートセット機能

その他: 自動復帰機能 モニターアラーム 12/24時間制表示切替え

主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子 ワンチップC/MOS-LSI

裏ブタの刻印	使用電池	電池寿命
5 4 9	CR-2012またはCR-2016	約 5 年
6 9 0	CR-2016	約 5 年
6 9 1	CR-2320	約 7 年
9 0 1	CR-2016	約 7 年

※電池は別途販売。

※電池寿命は1日当たり電子ブザーを20秒、ライトを1秒使用した場合。